

企画展「回復する」関連ワークショップのお知らせ



Planting Justiceの人々《Cyanotype photogram #05 for Mirrors of Happiness》2021年
Planting Justice蔵 ©Planting Justice

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は、次回企画展「回復する」出品作家・兼子裕代によるワークショップを2月12日に開催します。カメラを使わずに像を写し取るフォトグラムの中でも、美しい青色の濃淡が特徴のサイアノタイプを、印画紙からつくります。作家による展覧会出品作品の解説もご紹介します。

ワークショップ	日光で描くフォトグラム～青写真をつくろう！
日 時	2024年2月12日(月・祝) 10時～16時(45分間のお昼休憩を含む)
講 師	兼子裕代(写真家)
会 場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2階造形スタジオ、館外
定 員	15名程度(応募者多数の場合は抽選)
対 象	小学生～大人
参 加 料	無料
主 催	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助 成	一般財団法人自治総合センター

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団

ワークショップ担当：大浦美咲、宮本準子 企画展担当キュレーター：松村円 広報担当：奥本末世、佐伯美帆
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766

E-MAIL press@mimoca.jp URL www.mimoca.org

ポイント

日光で焼きつける写真技法

サイアノタイプ（青写真/日光写真）は19世紀中頃に考案された写真技法です。カメラを使用しないフォトグラムの中でも、サイアノタイプは紫外線が当たった部分のみ青く発色する薬品の性質を利用するため、暗室さえ必要とせず、年齢に関係なく誰でも気軽に楽しめます。

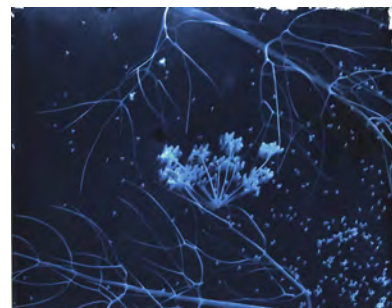
地域の素材で印画紙を制作

四国の和紙を印画紙として使用します。

参加者自身が和紙や水彩画用紙に薬品を塗布し乾燥させて、自分だけの印画紙をつくります。

出品作品との関わり

企画展「回復する」では、サイアノタイプを制作する人々の様子をとらえた兼子の写真作品や、そのサイアノタイプ作品が展示されます。ワークショップでの体験を通して、兼子の作品への関心が深まります。



Planting Justiceの人々《Cyanotype photogram #04 for Mirrors of Happiness》2021年
Planting Justice蔵 ©Planting Justice



Simone Robinson and Hiroyo Kaneko, 《Simone closeup, cyanotype print for Mirrors of Happiness》2023 ©Planting Justice

詳細

●スケジュール

10:00	受付
10:10-12:00	印画紙制作 展覧会鑑賞、素材探し
12:00-12:45	お昼休憩
12:45-15:35	露光、水洗、乾燥
15:35	終了(最長 16:00まで)

●注意事項

本プログラムでは、印画紙制作のため薬品を取り扱います。薬品は安全に扱うことができますが、家庭用洗剤などと同様に、誤って使用した場合にはリスクがあります。薬品による事故も考えられますので、よろしければ安全ゴーグルやマスクをお持ちください。ビニール手袋はこちらで準備いたします。

●お申し込み方法

応募締切：1月24日(水)まで ※応募者多数の場合は抽選となります。

Webサイトの応募フォームからお申し込みできます。応募いただくとIDが発行されます。

そのIDをもとに抽選結果を1月26日(金)頃にWEBサイトでお知らせします。



—— 講師プロフィール

兼子裕代(かねこひろよ)

青森県生まれ。カリフォルニア州オークランド(アメリカ)を拠点に活動。明治学院大学文学部フランス文学科卒業後、会社員を経てロンドン(イギリス)で写真を学ぶ。2002年にアメリカに拠点を移す。2021年より北カリフォルニアのオークランドにある植物栽培園、プランティング・ジャスティスに参加し、スタッフと一緒に美術の創作活動を行っている。



phot by Atsuko Morita

—— 関連プログラム

親子でMIMOCAの日

日時：2024年1月20日(土)、21日(日) 10:00-18:00

高校生以下または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者の方はどなたでも2名まで観覧無料となります。

キュレーターズ・トーク

概要：本展担当キュレーター(松村円)が展覧会をご案内します。

日時：2024年1月7日(日)、2月4日(日)、3月3日(日)各日14:00-

参加料：無料(別途、本展観覧券が必要です)

申込不要、当日1階受付前にお集まりください。

—— 企画展概要

展覧会名：回復する

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

助成：一般財団法人自治総合センター

会期：2023年12月23日(土)-2024年3月10日(日)

休館日：月曜日(2024年1月1日、1月8日、2月12日は開館)、2023年12月26日(火)-31日(日)
2024年1月4日(木)、1月9日(火)、2月13日(火)

観覧料：一般 950円(760円)、大学生 650円(520円) 常設展の観覧料含む

高校生以下または18歳未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

* ()内は前売り及び20名以上の団体料金

* 同時開催常設展「猪熊弦一郎展 好奇心と素直さ」観覧料を含む